



WORK GNOSIS CVX

ワーク グノシス シーバイエックス

CALL>>WORK (ワーク) 東日本コールセンター TEL:048-688-7555, 西日本コールセンター TEL:06-6746-2859, 中日本コールセンター TEL:052-777-4515
www.work-wheels.co.jp, MACCHINA (マッキナ) TEL:072-446-3733 www.macchina-style.com
PHOTO&TEXT>>HIROYUKI URANO (浦野浩之)

圧倒的なコンケーブ仕様



変則的なメッシュデザインはディレクショナル設定の最先端

北米の鍛造ホイールムーブメントに触発され誕生したグノシスの新シリーズ。それまでの日本のホイールにはなかった、削り出したかのようなエッジ感や多様なフィニッシュを、ワークが誇る技術によって具現化したものだ。デビューから随分と時間も経っているので、読者のなかには装着歴のある元オーナーも多いと思う。そんなグノシスが目指すのは、単純に鍛造風だとか優れたコストパフォーマンスだけではなく、もう一歩踏み込んでホイールという小さな輪なかでグノシスらしさを表現をすることだ。言い換えれば精緻にデザインを突き詰め、エッジーで華やか、そして繊細ささえ感じさせるメイド・イン・ジャパンならではの表現こそが持ち味といえる。

グノシスCVXは、以前に紹介したディッシュモデルのCVDと対をなす存在である。両モデルに共通するの

はディレクショナル&コンケーブという、まさに旬のキーワード。もちろん、そうしたコンセプトのホイールは少なくないが、ディレクションひとつとってもスポークを直接ヒネるのではなく、ツインスポークの片側に斜めに走るサブスポークを追加。さらに丸くえぐった股部分はあえて左右のバランスを崩すことで、スポークは真っ直ぐなのにヒネリを感じさせる視覚表現を狙った。さらにホイール中央部を丸くえぐることで、スポークの付け根部分が細く見え、グノシスが目指す繊細な印象が強調されているのもポイントだ。加えて、この丸みを帯びた形状は剛性面でも有利に働くというから、いかに練られたデザインなのか分かるだろう。

こんな繊細で華やかなホイールを事もなげに履きこなすのは、マッキナ製作のマセラティ・クアトロポルテ。

本来であれば5mを優に超える全長と、2mに迫るボディ幅を誇る現代屈指の巨艦セダンなのだが、21インチ+35扁平タイヤを余裕をもって呑み込んだ結果、実にスマートなスタイリングが完成。近寄るとすべての縮尺が普段と異なることに気付くのだが、離れて見る姿はイタリアンを小洒落たノリでモディファイする、いかにもマッキナらしい仕立てとなっている。製作したマッキナ太田代表に話を伺うと「今回はマセラティというハイエンドカーをモディファイするにあたり、華やかなインテリアとシンプルな美しさを持つホイールでユーロな雰囲気表現を試してみました」とのこと。さすがイタ・フラ系モディファイの旗手が考え抜いたホイール重視のコーディネートは、少ない手数ながらもスマートでオシャレな空気に満ちている。



■ SPECIFICATIONS MASERATI QUATTROPORTE S 2013
WHEEL WORK>>Gnosis CVX F:21×9.0J+18 R:21×10.5J+12
Finish:Composite Buff Brushed (PBU)
TIRE YOKOHAMA>>Advan Sport F:245/35R21 R:285/30R21
SUSPENSION KW>>Var.3 Adjustable Coilover
INTERIOR MACCHINA>>Seat Red Leather Recover/Carbon
Graphic Transfer Instrument Panel/Original Floor Mat



01 ベースはクアトロポルテS。とにかくボディサイズの大きなモデルだが、21インチをマッチングすることで実にスマートな雰囲気に取替った。02 リアは10.5J+12という深めのインセットにすることで、GTカーらしさを表現する。03 内装は一層華やかなレッドレザーに張り替え済み。ドア内張りやフロアマットまでコーディネートするあたりが、オシャレ上手なマッキナらしいポイントだ。

GNOSIS CVX SIZE & PRICE

SIZE	HOLE/P.C.D.	RIM	PRICE (税別)
19		7.5~12.5J	7万5000~11万円
20	5-100, 5-112,	8.0~12.5J	8万6000~12万円
21	5-114.3, 5-120	8.5~11.5J	10万3000~14万円

●付属品:センターキャップ、エアバルブ ●カラー:コンポジットパフブラッシュド、マットブラック、ブラッシュド、パフフィニッシュ、マットシルバー

04 CVシリーズらしいコンケーブしたシルエットが特徴。ディスクはスポークの傾斜角が異なるミドルコンケーブとディープコンケーブを用意する。05 デモカーは天面がブラッシュド、側面がパフフィニッシュのコンポジットパフブラッシュドを選択。こうした独創的なフィニッシュが選べるのもグノシスの魅力だ。06 一對のツインスポークにサブスポークを足すことでディレクショナルなイメージを追加。丸くえぐった股部分にも様々な工夫が凝らされている。

